

朝日寺だより

「おみさきさま」のこころ

住職 若松隆英



檀信徒の皆様、あけましておめでとうございます。良いお正月をお迎えのことと存じます。昨年、朝日寺にとりまして、ご開帳に向けた5カ

年計画最後の年でありましたが、皆様のご協力により順調に計画も進みました。あとは再来年に迎えるご開帳に、出来るだけ多くの檀信徒の皆様に参加して頂ける様、行事の内容を具体化して行こうと考えております。

昨年の日本を振り返ってみますと、何と言っても3月11日の東日本大震災を除いて語ることはできません。阪神大震災をはるかに上回る被

害でいつまでも忘れ得ぬ出来事になりました。朝日寺でも関係の深い被害者の方を中心に直接・間接に安否の確認やお見舞いを急ぎました。この地震を通じて感じたのは、現代人はともすれば科学万能で人間の力を過信しがちですが、自然の力の前にはいかに無力であるかと言うことです。開発も自然との共生をはかりながらのものとなければ自然から激しいしっぺ返しを受けるものであります。誰しも自然災害から免れることはできません。被害を受けた方々に対して助け合いが今後とも必要です。

備前地方ではお墓にお参りしますと、ご先祖様の石塔と共に「おみさきさま」と呼ばれるものが祭られています。ご先祖様にお供えをするだ



発行者 若松隆英 総代 山印 印刷者 奥山印

けでなく、おみさきさまにもお供えをして拝みます。おみさきさまは「餓鬼仏様」とも呼ばれ、世の中の食べるものにも困っている全ての者を



表しています。直接のご先祖様だけでなく、いくらかを困っている者たちにもおすそ分けするので、これは仏教の慈悲の教えを具現化したもので、我々僧侶が法事後、一緒にご馳走を頂いたり、タイのお坊さんが持つ鉄鉢に一般の人が食べ物や差し上げてくれるのも同様なものです。自分が全てを取り込むのではなく、みんなのためにいくらかの気持ちを施す。そんな精神をみんなが持ち合えば、家庭が、地域が、社会が明るくなって、自分もその恩恵にあずかる事が出来ると思います。しかし、昨今の日本を見ますと、権利は強く主張する一方で義務を守る意識は弱く、自分のためには他人に迷惑をかけるのもいとわない傾向がある様に見えます。そんな中で今回の大震災では、(スムーズに行く・行かないなどの問題はさておき)多くの義捐金や救済物資、援助の手などが日本だけでなく世界中から差し伸べられました。また、大震災のインパクトの大きさに忘れられつつありますが、昨年年初頭には『タイガーマスク現象』(タイガーマスクに扮した匿名の寄付行為が児童施設などに施される事が全国各地に連鎖した現象)という出来事がニュース番組を賑わせていました。

年頭に当たって

総代長 清水 佐伯男

檀信徒の皆様、あけましておめでとう御座います。ご家族お揃いで新年をお迎えのことと存じ上げます。旧年中はお寺のいろいろの面で大変御世話になりました。おかげさまで行事に付きまして多くの方々のご参加をいただき厳粛に盛大に行うことが出来ました。



昨年 平成 23 年 3 月 11 日(東日本)では歴史に残る大災害が発生いたしました。発生から 10 ヶ月

たった今も行方不明者数万人おられます。また原子力発電所の放射能の大きな問題に苦しんでおられます。この問題は国民みんなが協力して被災者を助けて行くことが大事だと思います。

私たちは災害の少ない岡山県に住んでいて平素は何も思っていないで

が災害が起こって初めて岡山に住んでいて良かったとつくづく感じました。昨年の 2 月 3 日の節分会には多くの方々のお参りをいただきそれぞれ願いを蠟燭に託してお祈りいたしました。福引も行われ和気藹々としぎやかに終わりました。皆様方の交流が出来てよかったです。

5 月 8 日の花祭り(第 5 回薬師如来祈願法会)にはちようど日曜日に当たり多くのお参りが御座いました。檀家はもちろん檀家外の方々のお参りも約 300 名のお参りが御座いました。住職、総代、婦人部をはじめ地元の方々のご協力により昨年の花祭りも盛大に行われましたことに對して厚く御礼申し上げます。7 月 18 日(海の日)に行われました、市の重要無形文化財に指定されている朝日寺恒例の読み上げ法要(投げ銭供養)は戦没者、初盆の方々供養を住職の読経と名前を呼ばれる度に投げ銭が飛び交い亡くなられた方々の供養が盛大におこなわれました。

8 月 15 日夜の水祭りには檀家の方々が大勢おいで下さり賑やかにご先祖様をお送りすることができました。11 月 18 日の寺めぐりでは、初めて

持っておきたいと思えますし、皆様にも持ち続けて頂きたいと思えます。さて、今年も辰年、龍の年です。朝日寺の正式名称は庄田山朝日寺龍生院といえます。昨年ブータンの国王夫婦が日本を訪れました。この国は世界一国民の幸福度が高いそうですが、国旗には龍が描かれています。皆様にとってこの一年が昇り龍の年でもありますことを祈念致します。

の参加者も多数おられ、例年より多くの人数での旅行ができました。檀信徒間の親睦も進み、たくさん思い出も出来ました。12 月 31 日大晦日には地元の方が除夜の鐘をつきにお参り下さり有難う御座いました。

檀家の皆様方には 5 年間のご寄付有難う御座いました。昨年度を持ちまして終了いたしました。おかげをもちまして色々な大きな事業を行うことが出来ました。心より御礼申し上げます。檀家の皆様方にこれから何かとお世話になることも多いかと思っております。本年が檀家の皆様方に取って最良の年であることをお祈りいたします。

昨年日本では大きな災害が御座いましたが本年は何事も無い年であることを願っております。本年が檀家の皆様方に取って最良の年であることをお祈りいたします。



33 年に一度のご開帳も再来年(春季の予定)に近づいてきました。来年のこの紙面では具体的なことを檀信徒の皆様にご報告できればと思っております。今年も 5 月 8 日恒例の花まつりを少しづらして 5 月 13 日の日曜日に開催することになりました。また他にも恒例行事を予定しております。どうぞ皆様お参り下さい。本年もよろしくお祈り申し上げます。